



表紙紹介

4月8日、笛舞小学校の入学式にて。昨年に続き、新型コロナウイルス感染症対策によるマスク着用での開催。コロナなんか吹き飛ばしてしまいそうなほど元気いっぱいの新1年生5名が入学し、全校児童は22名に。小さな学校のアイドルたちの健やかな成長を願います。（写真は記念写真撮影時のため、マスクを外しています）

P2-3 令和3年度予算の概要
予算特別委員会を終えて

P4-5 予算特別委員会 質疑

P6 令和2年度3月定例会
補正予算・条例改正ほか

P7-10 一般質問5名 8件

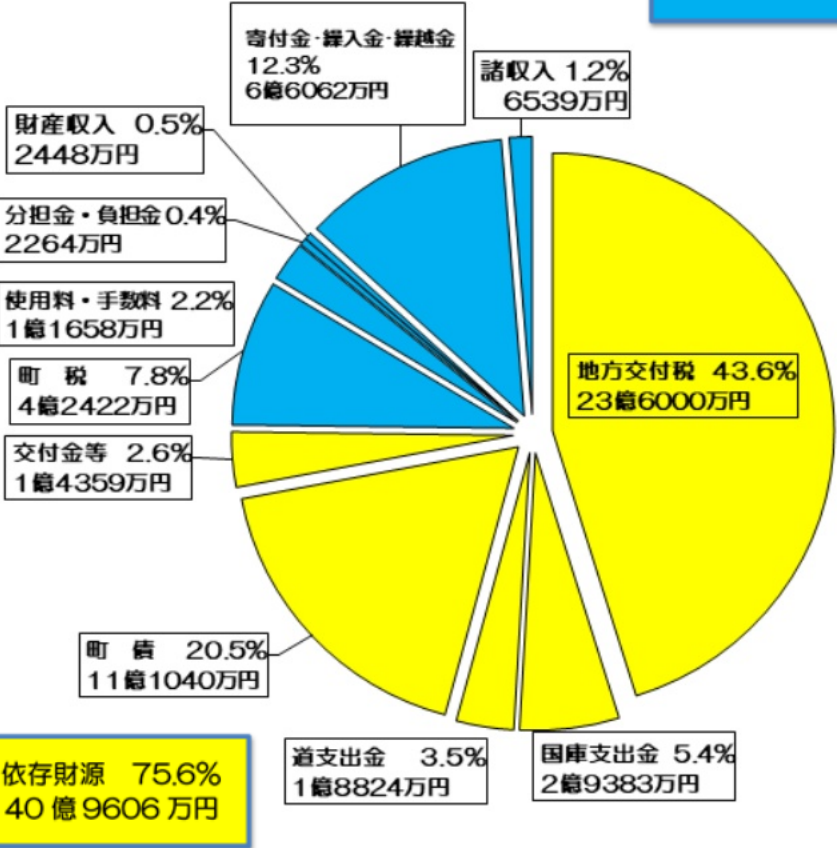
P11 全員協議会 報告

P12 「この人に聞く」
大相撲 友綱部屋
高松 航太さんに
インタビュー

前年度比 2億6000万円増

歳入
54億1000万円

自主財源 24.4%
13億1394万円



依存財源 75.6%
40億9606万円

本年度の一般会計予算は、町長選挙が執行されるため、一部の政策経費を除いた予算となっています。
政策経費のうち6月までの実施が確実に見込まれる事業のみ、主な新規事業として掲載しました。



更新される防災行政無線



解体される追分峠「無名橋」

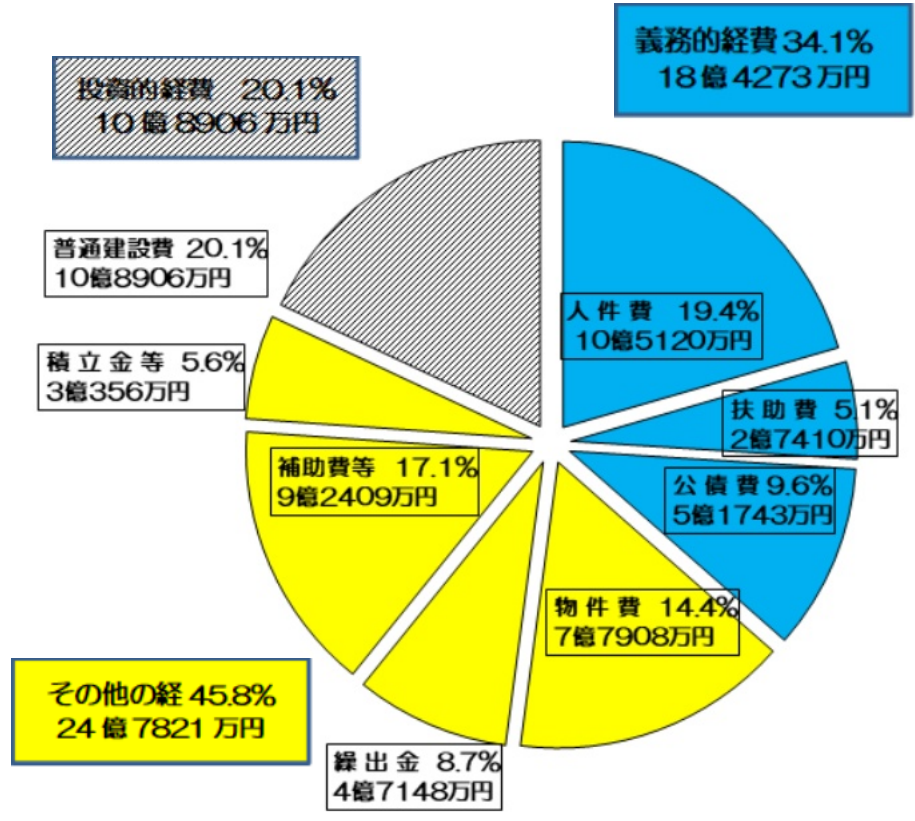


老朽化が激しく、一部改修される清掃センター

- 「●本年度の主な新規事業」**
- ◎ 防災行政無線更新整備事業（担当：企画課）6億9700万円
現在の防災行政無線を新規格に適合した機器に更新。
令和4年度まで。
 - ◎ 映画出資負担金（担当：企画課）1650万円
～襟裳岬を甦らせた漁師たちの実話～
「北の流氷（仮）」の映画出資負担金。
 - ◎ 無名橋解体事業負担金（担当：建設水道課）1億2000万円
追分峠頂上付近の国道をまたぐ、「無名橋」の
解体負担金。
（事業主体は開発建設部）
 - ◎ 高規格救急車購入（担当：日高東部消防組合えりも支署）
3716万円
平成17年度購入の救急車の更新
 - ◎ 清掃センター改修事業（担当：町民生活課）4940万円
清掃センターガス冷却塔鋼板・耐火物改修。
（焼却施設燃焼塔の熱を下げるための改修）
 - ◎ 中央保育所外壁改修工事（担当：町民生活課）1240万円

令和3年度一般会計予算

歳出
54億1000万円



予算特別委員会を終えて

委員長 笹谷 広喜



本委員会を閉会するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。当初予算の審査という大変重要な案件の審議ではありましたが、委員並びに理事者・説明員のご協力を賜り、無事全会計の審議を終えましたことは、誠にありがたく、心から感謝申し上げます。さて、防災行政無線の整備事業や追分峠の無名橋解体事業など大型の財政出動を控え、当町の財政状況は極めて厳しい状況にあります。本委員会の審査の中で、それぞれ建設的な意見や指摘がありました。これらを十分に踏まえ、今後の町政の発展に役立てていただきますよう、委員をはじめ理事者、説明員皆様に切にお願いをしまして、ご挨拶いたします。

● 予算総括表

単位(千円)

会計区分	予算額	前年比
一般会計	5,410,000	260,000
国民健康保険特別会計	990,000	5,000
簡易水道特別会計	179,000	6,000
診療所特別会計	341,000	11,000
下水道特別会計	186,000	14,000
介護保険特別会計	496,000	11,000
後期高齢者医療特別会計	69,000	2,000
小計	2,261,000	49,000
総計	7,671,000	309,000



更新される救急車



外壁改修が予定される中央保育所

予算特別委員会

定例町議会最終日の3月12日、町側から提示された令和3年度の予算案に対する質疑応答が行われました。各委員から多くの質疑がありましたが、内容を抜粋し掲載します。

滞納繰越額の推移は

質疑（石川）

水道料と下水道料の滞納額が増えている理由は。

答弁（建設水道課専門技師）

高額滞納者の滞納額が減らない。今後も努力して滞納額を減らしていきたい。

優良肉用繁殖雌牛貸付

質疑（竹内）

町内の肉牛農家戸数と繁殖雌牛の飼養頭数は。

答弁（産業振興課長補佐）

昨年2月の数字であるが、肉牛農家戸数は21戸、繁殖雌牛は648頭である。牛ヨ一ネ病により、数年前より350頭ほど減少している。

小学校プール

質疑（竹内）

管理委託費として440万円計上されているが、内容は。

答弁（学校教育課長）

管理業務及び清掃業務は民間委託とし、監視業務は資格が必要であることから、教育委員会の直営で考えている。

質疑（石川）

①プールの名称の経緯は。
②5億円もかけ年間4か月の利用だが、未使用期間の利用を検討しては。
③児童の無料は理解できるが、一般は料金の負担が必要では。
④脱炭素社会時代に、なぜ化石燃料を使用するのか。風力や木質燃料の選択肢はないか。

答弁（教育長）

①正式名は「えりも町立えりも小学校プール」で、愛称は「えりも小風の子プール」として中高生も含め活用することとした。これは、一つの学校という補助制度の中で、道教委とも協議し決定した。

②補助制度に従い学校の使用期間を前提に利用期間を決定したが、今後利用状況を見ながら検討していきたい。

③学校プールであるため一般からの利用料はもらえない。

答弁（建設水道課長）

④最小の経費で出来る設備ということを念頭に置いた結果、化石燃料（A重油）となった。



使用期間が議論された完成間近の学校プール

ヨ一ネ病緊急対策補助金

質疑（竹内）

事業内容は。

答弁（産業振興課長補佐）

ヨ一ネ病で殺処分された牛の見舞金及び殺処分された牛を補てんするため、新たに牛を導入する経費を農協が助成し、その半額を町が農協へ助成するもの。

獣医師配置負担金

質疑（高松）

次年度に予算計上されていない理由は。町から獣医師がいなくなるのか。

答弁（産業振興課長補佐）

従来から獣医師2名体制で、そのうち1名分を農業共済組合に支払ってきたが、同組合から1名体制になると話があり減額した。

また、同組合も合併が進み事務の効率化のため、えりもから引き揚げ、様似町に常駐するという話があり、町としてはえりもに残してほしいと要望している。

答弁（町長）

何が問題でえりもから引き揚げるのか、経営的に厳しいのか、住宅の問題があるのか。町で支援できるものは行う考えがあると伝え、計画の撤回を要望している。

すこやか赤ちゃん誕生祝金

質疑（橋本）

赤ちゃんの数が減ってきている中、一人当たりの額を増額できないか。

答弁（町民生活課長）

祝金制度は、第一子3万円、第二子以降は5万円を贈呈しているが、現在のところ、金額の改定は検討していない。



第一子の出産祝金10万円以上の道内自治体も増えてきている

シカ侵入防止柵の修繕

質疑(橋本)

毎年維持補修費が掛かっているが、修繕の額と箇所数、今後の対策は。

答弁(産業振興課長)

施設の耐用年数もあと数年で終わる。経年劣化が著しく、維持費は予算計上額程度かかる予想である。今後は補助事業で再整備するか、撤去するかの検討が必要と考えている。

風の館運営費

質疑(橋本)

施設に雨漏りやさびが見受けられる。国立公園の指定も予定されており、修繕費を増額しては。

答弁(産業振興課長)

修繕費は110万円計上しているが、経年劣化により壊れた部分を都度修繕していく予定である。

答弁(町長)

環境省では国立公園指定後、園内の施設管理に関し何らかの支援を考えたいと

いう意見もあり、今後検討していきたい。

水面多面的機能発揮対策事業

質疑(高松)

チェーン振り事業は本年度、157万円余り予算計上されていたが、次年度は予算計上されていない。補助しないということか。

答弁(産業振興課長補佐)

えりも漁協と協議の結果、漁業者の高齢化や工法変更等でこの事業に合致しない部分があり、次年度は様子を見たいということで予算計上を見送った。

学校給食

質疑(高松)

給食提供用備品購入で真空冷却器が計上されているが、どのようなものか。導入経緯は。

答弁(学校教育課長)

献立の茹でたものを瞬間的に冷却し、すぐ次の給食の献立を作ることができる。

衛生管理上備えなければならないという指導があり、必要最小限の機器である。

教員住宅の修繕

質疑(高松)

教員住宅の修繕費600万円余り計上されているが、何棟を修繕する予定か。また、修繕の内容は。

答弁(学校教育課長)

教員住宅は小中高校合わせて84戸ある。特に水回り、ユニットバスやトイレ、床面フローリング、屋根などが相当傷んでいる。

これらを修繕するための計上で、特にこの住宅ということではない。

漁村センターの管理

質疑(上野)

用地賃借料が計上されているが、漁村センターは現在ほぼ使用されていない。外階段も崩れ落ちそうになっているが、管理は。

答弁(産業振興課長補佐)

町は解体を検討しているが、建物にアスベストが入っていることや、解体費用が3千万円以上かかるなどの問題がある。

また、漁村センターと旧漁協が渡り廊下で連結しているため、町単独で漁村センターだけを解体するのか、漁村センターと併せて旧漁協も解体するのか、今後漁協と協議を進めたい。

企業誘致

質疑(竹内)

昨年企業誘致で「えりも中央牧場」の施設が完成した。豚の出荷も順調と思うが、町内の店舗で当該企業の豚肉を取り扱うことはできないか。

答弁(産業振興課長)

中央牧場にはイベントへの参加などを打診している。新冠では、食肉センターが年1、2回販売をしており、えりも町でも同様のことができないか打診している。

上下水道、公営企業会計へ移行

質疑(高松)

現在の会計方式から、公営企業会計方式に移行するための負担金800万円余りは、毎年負担するのか。また、移行業務を行う組織はどこか。

移行後は職員が会計事務を行うのか。

答弁(建設水道課専門技師)

令和3年度から5年度までで1600万円余りを予定し、初年度は固定資産台帳の整備を予定している。委託先は北海道自治体情報システム協議会である。令和6年度からの移行後は、職員で行う。



豚を繁殖させているえりも中央牧場の全景

えりも町議会第7回定例会

第7回定例町議会が3月2日に開会し、12日まで開催されました。（3日～10日まで休会）
令和2年度予算の補正、条例の改正等、また、最終日には、令和3年度の予算を審議するための予算特別委員会が開催され、すべて原案通りに可決されました。

補正予算

一般会計（歳出）

除雪運転委託

2500万円

除雪作業が増加したため

備品購入費

250万円

旧高齢者センター備品
浴槽水を人工ラジウム温
泉化する資機材購入

えりも高校用備品

ギガスクール構想に基づ
くタブレット等購入

133万2千円

放課後児童クラブ用備品
タブレット購入

23万2千円

診療所特別会計繰出金

4千万円

鳥獣被害防止緊急捕獲活 動支援事業補助金

▲223万7千円

捕獲頭数の減少など

一般会計（歳入）

北海道海岸漂着物等地域
対策推進事業補助金

360万円

海岸漂着流木の処理業務
に対する道補助金の追加

ふるさと納税寄付金

2億円

ふるさと納税寄付金の増
による追加

新型コロナウイルスワ
クチン接種体制確保事業補
助金

831万5千円

ワクチン接種に係る体制
整備に対する補助金

優良繁殖雌牛導入貸付償
還金

190万5千円

貸付償還金の見込額

海外実践研修旅行助成事
業

▲630万円

えりも高校の海外研修の
中止

条例改正

えりも町介護保険条例の
改正

介護保険事業計画に基
づく3年ごとの見直しに
より、65歳以上の方に対
する基準額を引き上げ、
負担の軽減を図る。

人事

えりも町公平委員の選任

えりも町字大和
盛 孝雄（72歳）
再任

- ・第1段階の保険料率 33000円↓40800円
- ・第2・3段階の保険料率 49600円↓61200円
- ・第4段階の保険料率 59500円↓73400円
- ・第5段階の保険料率 66100円↓81600円
- ・第6段階の保険料率 79400円↓97900円
- ・第7段階の保険料率 86000円↓106000円
- ・第8段階の保険料率 99200円↓122400円
- ・第9段階の保険料率 112400円↓138700円

そこが聞きたい！ 一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。



橋本 維広議員

問 未利用公共施設の対応は

答 地域の意見を聞き、解体を検討

問 橋本 議員

町内で使われていない公共施設があり、老朽化が激しく景観も悪い。
①目黒保育所は外部遊具が朽ち果て、建物も明らかに維持管理がされていると思えず廃墟と化している。早急

な対処が必要ではないか。
②ふれあいコミュニティセンターは、利用者数の減少と老朽化のため解体する方向で調整中のことであったが、その後どうなったか。

答 町民生活課長

①目黒保育所は平成14年度に庶野保育所と統合され現在に至っている。建物も築44年が経過し老朽化も進んでいる。
今後、地域の意見を聞きながら解体等を検討していきたい。

答 保健福祉課長

②ふれあいコミュニティセンターは、築31年が経過し老朽化が進み、利用者も大幅に落ち込んでいる。
当該施設の利用については、ゲートボール協会と協議を重ねてき

たが、同協会は今年3月末をもって解散し、今後施設は利用しない旨の報告を受けた。
町としては今後、売却、解体、他の用途への転用も視野に入れ、できるだけ早い時期に結論を出したいと考えている。



老朽化が著しい目黒保育所

問 移住者支援は

答 家賃補助等は考えていない

問 橋本 議員

町内でも少子高齢化や人口減少が進み、2045年には人口が半減すると予想される。

①漁船乗組員が町外から来ている話も聞か、一定の条件を付けそのような方々が定住しやすいように家賃の半額補助は考えられないか。

②定住促進のための賃貸住宅を用意し、ホームページ等で周知している。

③Uターン者を想定し、家業を継ぐ際にかかる費用を補助し、移住促進を図っては。

答 企画課長

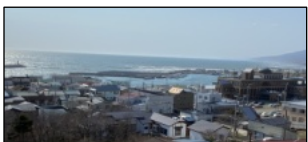
管内では当町を除く6町村が道移住促進協議会に参加し、移住促進の取り組みを行っている。

①移住者のニーズも分からない状況なので、まずはえりもに暮らし

ている人に対して、今後もえりもに安心して暮らし、子育てをしていける施策を行っていくと考えており、新たに定住する方の家賃補助は考えていない。

②同様の理由から現時点では考えていないが、今後移住・定住についての取り組みや支援は検討する必要があると考え、振興局とも連携し情報収集をしていきたい。

③新たな担い手として漁業後継者や新規漁業就業者に対して、漁業を営む上で必要な経費について、どのような支援が行えるのか、漁協とも協議し実施できるよう進めていきたい。また、農業や商業についても検討していきたい。



人口減少が心配される当町



中野 公浩議員

特定健診受診券 個人宛に送付を 受診の動機付けのため 前向きに検討

問 中野 議員

健康そうにみえても糖尿病等であったりする。高血圧等は自覚症状がほぼなく、放っておくと動脈硬化が進み、心筋梗塞などが起こる可能性がある。脳梗塞の前兆も数分

間で消え、本人も気のせいかと思ってしまう。生活習慣の見直しや食生活、運動の大切さなどに加え、特定健診の重要性を広く周知すること、町民が健康を保ちながら長生きし、人口減少の抑制にも繋がると思う。

点を置いた取り組みを進めている。これまでも健康に関する様々なパンフレット等の配布のほか、広報紙を通じて周知を図っているが、今後も情報提供の充実に向けパンフレットの内容見直しや改善に取り組む。

①健康ガイドブック、またはプリントを作成して各家庭に配布してはどうか。医療費の削減に繋がると思う。

②受診券は、国保の保険証と同様に、郵送料を考慮し世帯ごとまとめて送付している。個人宛に送付すること、健診を受ける動機となることも考えられ、同封明記の対応策とあわせて双方を考慮のうえ、どちらかを実施する方向で検討する。

②特定健診受診券は、世帯主宛に送付されるが、開封しなければ配偶者分が確認できないので、個人宛に送付するか、何名分と明記してはどうか。

①町は、生活習慣病の早期発見を目的に、特定健診の継続受診を促し健康状態の把握や生活習慣を見直す機会となるよう正しい知識を普及させ、予防に重

答 保健福祉課長

特定健診受診券の送付先を世帯主から個人宛に変更することを検討



問 大坂 議員

ワクチン接種の 具体案を

接種場所は 歌別の第2体育館



大坂 庄吉議員

新型コロナウイルス拡大防止策で、新設されたワクチン接種の体制整備事業は、ワクチン接種にあたり各自治体で必要な費用を原則国が全額負担、PCR検査や抗原・抗体検査

体制の充実強化等が示されている。①ワクチン接種方法は、集団接種で65歳以上から無料クーポン券を発送して、特定の場所を集中的に実施するが、どの場所を考えているのか。

②接種会場までの移動手段は、送迎バスの運行を計画している。町内全方面から一斉の運行は困難なので、日にち指定や地域指定の対応となる。

②自宅や介護施設を出ることが難しい人や会場に自力で来ることが難しい高齢者の移動手段は。

やまと苑入所者は、当該施設内での実施を考え、診療所と協議している。

答 保健福祉課長

町は、新型コロナウイルス感染症対策本部会議の中で、ワクチン接種推進チームを設け全庁的な協力体制を構築し、国からの情報収集などに遺漏のないよう取り組んでいる。

①接種場所は、歌別の第2体育館を通年貸切で実施する予定。

また、国保診療所との協議で、副反応の対応を考えた場合に診療所や消防支署により近



ワクチン接種のシミュレーションを行った実際の会場。歌別の第2体育館



上野 陽司議員

国道の通行止めに 対策を

問

上野 議員

対策を引き続き 要望していく

答

地元自治会が以前から対策や要望を出している場所である。現在まで、国や道に對してどのような要請・要望をし、その回答と今後の働きかけは。

答 企画課長

①近浦く笛舞間は、町民の生活になくてはならない重要な道路であり、国道を管理している関係機関に、早期の越波柵設置等の対策を要望している。

雨量での規制はなくなり、パトロールにより危険な場合には通行止めとなる特殊通行規制区間へ緩和されている。目黒く音調津間は、防災工事が完了していません。そのため、連続雨量が80mmで通行止めとして

緩和を要望していく。

②庶野く広尾間は頻繁に通行止めになっている。5年、10年先を見据え、どのような考えをもっているか。

①近浦く笛舞間は、2月16日、台風並みに発達した低気圧による高波の影響で通行止めになり、設置されている越波柵も乗り越えている状況にあった。

②庶野く上目黒間は、令和2年4月から連続



なぎのいい満潮時でも越波している近浦～笛舞間の国道

中学校に部活動 指導員の導入を

問

上野 議員

進めたいが人材 発掘が課題

答

で苦勞している教員の負担軽減になり、働き方改革の点からも有効と思われる。さらには、競技や文化活動の専門的な知識を持った地域人材の活用は、部活動の指導内容の質の向上になり、

答 学校教育課長

部活動指導員の職務は、実技指導、学校外活動の引率、用具・施設の管理、保護者への連絡、年間指導計画の作成などである。

①近浦く笛舞間は、町民の生活になくてはならない重要な道路であり、国道を管理している関係機関に、早期の越波柵設置等の対策を要望している。

②庶野く上目黒間は、令和2年4月から連続

部活動に取り組み子ども達。女子バレー部は管内でも屈指の強豪



技能のみならず、学校教育に関する十分な理解を有する者」とされており、当町においては大きな町のように人材を発掘することは難しい状況にある。



高松 亮裕議員

問 人口減少を最小限に くい止める対策を

答 関係人口の 拡大に取り組む

問 高松 議員

2018年1年間の
えりも町の人口減少率
は2・6%で、日高管
内で一番減少率が大き
かった。

答 企画課長

各町が新規就業や移住促進に向けて様々な支援を行っているなか、えりも町がこれといった対策を打ち出していないことを考えれば当然の結果ともいえる。移住してもらうには働く場がなければ難しいと考えられていたが、新型コロナウイルスの感染拡大により会社に行かなくてもテレワークで仕事が出来てしまう。

観光協会では宿泊費、食費、交通費を負担し、町内の宿泊施設に滞在してテレワークをする方を募集したところ、

12月～2月に30名が参加し、延べ宿泊数350泊の利用があった。町としてもこの取り組みを支援するとともに、第2期総合戦略で「夏の冷涼な気候と豊かな自然、新鮮な魚介類を中心とした食といった魅力を発進すること」で、新たな関係人口の創出・拡大を図るとともに、移住・定住の受け入れ環境の整備を検討していく」としており、今後関係人口の拡大に取り組んでいく。



昆布の「おかまわり」をしながらワーケーションも

えりも岬の昆布干し

問 コロナによる 弱者救済のために

答 「支え合い基金」 再度実施されれば検討

問 高松 議員

①国民1人当たり10万円の特別定額給付金を辞退しようと思った個人や困っている町民のために寄付をしたいと考えている事業者もいるのではないかと。どういった形で寄付をしたら良いのか迷っている方の受け皿として新ひだか町のような「支え合い基金」を創設

答 企画課長

し、町民同士で助け合い、コロナを克服しようとする仕組みを創るべきではないか。②業績悪化のために解雇されたり、仕事量が減って収入が減少した個人に対し、国は「休業支援金」で救済しているが、個人がどれだけ理解し受給しているか疑問である。そういう支援があることを町民に十分周知し、気軽に相談できる窓口を開設することが必要ではないか。

①新ひだか町の「支え合い基金」は、特別定額給付金事業の5月13日～8月13日までの期間に、個人・企業・団体合わせて157件、約3300万円が集まり、町民への支援事業に活用したとのこと。当事業も終了し、現時点では基金の開設は考えていないが、再度

答 産業振興課長

実施の際には検討したい。②国の「休業支援金」は基本的に個人による申請のため、町に問い合わせはない。今後は、町の支援のみならず国や道の支援についても町民にわかりやすい周知を図っていききたい。専用の窓口の開設は、問い合わせ件数も少なく、それぞれの担当課で対応し、開設する考えはない。



困っていない人から困っている人へ気持ちをつなぐ「支え合い基金」を設けて広く募ることにしました
新ひだか町大野町長ずぼらな日記より

3つの案件を町と協議

えりも町強靱化計画

大規模自然災害から町民の生命・財産を守り、重要な社会経済機能を維持するため、産業・交通・エネルギー・まちづくりなど広い分野における機能の強化を平時の段階から図ろうとする取り組み。

- ①20の「起きてはならない最悪の事態」(リスクシナリオ)を設定する。
- ②これらの項目ごとに関連する現行の施策の推進状況や課題を整理し、事態の回避に向けた対応力について分析・評価を行う。
- ③この結果を踏まえ、個別施策の進捗や実績を把握するため、可能な限り数値目標を設定する。
- ④推進期間を令和7年度までの5年間とし、国や道との連携を図りながら個別の進捗状況や目標の達成状況を継続的に検証していく。

※議員の意見として

- ①建造物の耐震性の調査を。
- ②脆弱性を点数化し、優先すべき事業を決定するなどの具体的な計画にすべき。
- ③大規模風力発電の森林伐採による土砂流出などの二次災害への懸念。

えりも町介護保険条例改正案

「保険料、年額15,500円増」

3年ごとに策定する「市町村介護保険事業計画」に伴い、第1号被保険者(65歳以上)の納める保険料が、令和3年度から基準となる第5段階の方で月額6,800円、年額にして81,600円となり、令和2年度に比べて年間15,500円増えることになる。

ほかの地域と比べて高齢化率が低いのに施設利用者が非常に多い。所得が高い高齢者が多く国からの調整交付金が少ないなどにより保険料が高くなる。

※議員の意見として

①国民健康保険税も高いのに、介護保険料も今回上げ幅が大きい。一般会計から繰り入れるなど負担を緩和することはできないか。
→一般会計からの繰り入れはふさわしくないと、会計検査院から指導されている。

えりも町まち・ひと・しごと創生総合戦略案

目指すべき姿を「輝く海と大地を次世代へつなげるまちづくり」とし、4つの目標を設定する。

- 1 まちに安定した雇用をつくる
新たな担い手と新規就業者支援 など
- 2 まちに新たな人の流れをつくる
観光振興による交流人口の拡大 など
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
ライフステージに合わせた切れ目ない支援など
- 4 安心・安全で、住み続けたい魅力的なまちをつくる
地域医療の確保と防災・減災対策の推進 など

※議員の意見として

- ①インバウンド(外国人旅行者)の宿泊数を増やす施策を
- ②オンライン婚活や町内各種イベント時の婚活パーティーの開催を
- ③漁業新規就業者に対する支援と就業条件緩和を
- ④目標達成のための役場各課の体制強化を



新規就業者も年々減少し、昆布採り業者へ支援も必要か

この人に聞く

大相撲 友綱部屋
 たかまつ こうた
 高松 航太さん(15)



小学校2年から柔道を始め全道大会で上位入賞し、全国大会に3度出場。中学卒業後、大相撲友綱部屋への入門が決まった高松航太君にお話を伺いました。

(取材・高松)

▼柔道でも大活躍でしたね
 小5、小6、中2と3回全国大会に出場し、小5の時、個人戦で全国ベスト16に入ることが出来ました。

▼力士になるきっかけは
 柔道少年団の鎌田監督と友綱部屋の旭大星関が旭川大学高校の同窓生で、中2

の時、監督の計らいで旭大星関と初めてむかわ町で会いました。

その後、柔道の全国大会で東京へ行ったときにも友綱部屋を見学する機会があり、次第に旭大星関のファンになり、相撲への興味がわいてきました。

お正月にも、友綱部屋に行つて、しこ、すりあし、てっぽうなど稽古してきました。

▼趣味や好きな食べ物とは
 とにかく練習ばかりで、

たまには魚釣りもしましたが、さっぱり釣れませんでした。食べ物はずいぶん「エビフライ」が大好きです。

▼今後の日程と心意気を

3月31日に東京へ発ち、国技館で開催される5月場所から「旭大海」(きよくたいが)の名前でデビューします。一生懸命頑張るので、どうぞ町民の皆さん応援してください。友綱部屋は東京スカイツリーのすぐそばにあります。

東京へ来たときは、ぜひ寄つて下さい。

この議会だよりが発行さ

れるころは5月9日からの本場所に向け、稽古の真つ最中だと思えます。ご活躍を期待しています。

(取材 高松)



所属力士の皆さんと記念撮影
 友綱部屋ウェブサイトより

議会の動き

2月24日	議会運営委員会
3月 1日	えりも高等学校卒業証書授与式
3月 2日	全員協議会 第7回定例会招集
3月11日 12日	第7回定例会及び 予算特別委員会 全員協議会 広報広聴常任委員会
3月24日	日高東部消防組合議会 日高東部衛生組合議会
4月 5日	広報広聴常任委員会
4月16日	第1回臨時会 広報広聴常任委員会
4月30日	日高総合開発期成会理事会・ 定期総会

※町内小・中・高等学校の卒業式、入学式への来賓出席は、新型コロナウイルス感染対策のため見合わせとなりました。

編集後記

「暑さ寒さも彼岸まで」。とよく言われます。

その彼岸は今年、三月十七日から二十三日。やっぱ中日に大雨の彼岸荒れがありました。大荒れにならずに済んで安心しました。

先人が残してくれた教訓は、忘れずに肝に銘じておくことが大切とつくづく感じていきます。

さて、少し気が早いかもしれませんが、二か月したらまちが一番活気づく昆布採り漁が始まります。

彼岸明けの毎日、日の出を身近に感じて大漁を願いながら、おかわりの役目を高齢をさておき今年も無事に果たそうと、一人心の奥で昆布採りモードにスイッチONです。(神田)

広報広聴常任

委員会委員

委員長 橋本 維広
 副委員長 高松 亮裕
 委員 竹内 孝文
 神田 修
 上野 陽司